

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		環境園芸学科	
科目名称	ビオトープ論					授業形態		講義	
科目コード	710026	単位数	2単位	配当学年	2年	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○
担当教員名	中野 光議								
授業概要	<p>本授業の目的は、ビオトープ事業を効果的に推進するために必要な知識、技術、評価・応用に関する基礎的な能力を養うことです。本授業はビオトープ管理士の関連科目です。ビオトープの造成や管理に必要な知識と技術を、講義や野外実習等により習得します。野外実習では、宮崎県にあるビオトープを観察して、構造等について学びます。また、水辺ビオトープで生物の調査を行い、ビオトープの構造や管理と生物との関係について学びます。</p>								
関連する科目	環境緑地論を受講していることが望ましい。履修後は、水辺環境論、環境調査及び再生論、環境緑地論実習、水辺環境論実習を履修することが望ましい。								
授業の進め方 と方法	座学のほか、座学で学んだ内容を体験しさらに理解を深めるため、野外学習も取り入れています。								
授業計画 【第1回】	第1回 概要、ビオトープ論導入 授業の計画と、ビオトープの定義や種類等について学びます。								
授業計画 【第2回】	第2回 生態学 ビオトープづくりに関係がある生態学について学びます。								
授業計画 【第3回】	第3回 環境関連法 ビオトープづくりや生物の調査・保全に関係がある法律について学びます。								
授業計画 【第4回】	第4回 計画部門 ビオトープづくりを計画するために必要な知識を学びます。								
授業計画 【第5回】	第5回 施工部門 ビオトープづくりに携わる現場技術者として必要な知識や姿勢について学びます。								
授業計画 【第6回】	第6回 問題練習 ビオトープに関する問題を解きながら、これまでの授業内容を復習して理解を深めます。								
授業計画 【第7回】	第7回 ビオトープの調査(1) ビオトープの構造や植生を調査します。								
授業計画 【第8回】	第8回 ビオトープの調査(2) ビオトープを利用する動物の調査を行います。								
授業計画 【第9回】	第9回 ビオトープの調査(3) ビオトープの立地条件と生態ネットワークを調査します。								
授業計画 【第10回】	第10回 ビオトープ計画の作成(1) 調査結果から、ビオトープの問題点を明確にします。								
授業計画 【第11回】	第11回 ビオトープ計画の作成(2) 文献調査等を行い、問題点を解決する方策を考えます。								

授業計画 【第12回】	第12回 ビオトープ計画の作成(3) ビオトープ計画を作成し、発表します。
授業計画 【第13回】	第13回 ビオトープの維持・管理 清掃等のビオトープの維持・管理について学びます。
授業計画 【第14回】	第14回 学校ビオトープ 学校ビオトープの現状や利用、維持・管理について学びます。
授業計画 【第15回】	第15回 農地ビオトープ 農地ビオトープの現状や利用、維持・管理について学びます。
授業の到達目標	1. ビオトープに関する基礎的な知見と技術体系・現状・課題などを理解する。【知識・理解の獲得】 2. ビオトープの設計・施工に係わる事項について、問題の所在を理解できる力を養う。【汎用的技能の育成】
学位授与の方針 (DP)との関連	2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)/2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)/3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)/3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)/3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3)
授業時間外の学修 【予習】	ビオトープの事例をメディア媒体や実物をなるべく多く見て、イメージできるようにしてください。
授業時間外の学修 【復習】	授業中に指示します。
課題に対する フィードバック	提出物は評価後に返却し、解説を行います。
評価方法・基準	受講態度(60%)、提出物(40%)の配点で評価します。
テキスト	なし
参考書	『改訂版ビオトープ管理士 資格試験 公式テキスト2級ビオトープ計画管理士・施工管理士対応』日本生態系協会 監修(日本能率協会マネジメントセンター)
備考	なし